

雲仙復興だより

平成17年度
Vol.3



☆今回は、最近の
溶岩ドームの状況
とみんなで植えた
イチョウの木を紹
介します

溶岩ドームの現況



平成新山溶岩ドーム

平成17年11月17日で噴火15年が経ちました。雲仙普賢岳には、今も大きな溶岩ドームが睨みをきかせ、どっしりと鎮座しています。その溶岩ドームを先日調査しましたので、現状について報告します。

溶岩ドーム北西側斜面より調査に入りました。右の写真のとおり、大きな岩が折り重なった状況でした。



登山風景(溶岩ドーム北西側より)



平成新山の岩尖

山頂には、高い火山岩尖がそびえ立ち、島原市の方をみると大きな岩が沢山並んでいました。写真にすると、その巨大さはあまりわかりませんが、とにかく圧倒されました。



平成新山山頂より島原市側を望む(写真左奥は、眉山)

この調査は、九州大学の火山の専門の先生方などと一緒に行ったものです。

※溶岩ドームへの一般の方の登山は禁止されています。

島原半島のトンネルの効果と地下水のはなし



最近、島原半島に作られたトンネルはどんな効果があったのかな？
トンネルを掘削したところでは地下水に影響を与えなかったのかな？

交通混雑が緩和したり、曲がりくねった道が通りやすくなったんじゃよ。
地下水については、これまでの実績では、トンネル掘削による影響は報告されていないんじゃよ。



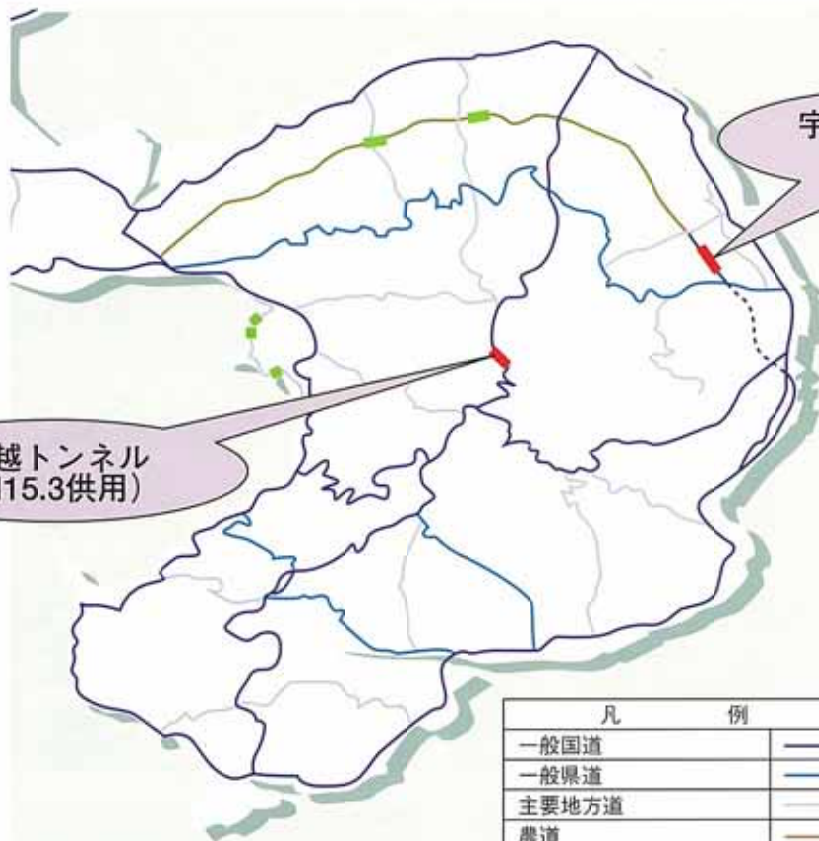
島原半島では最近、宇土山トンネルと吹越トンネルが造られました。

・吹越トンネルがある国道389号は、雲仙温泉街と雲仙市国見町、さらにフェリーを経由し福岡・熊本方面を結ぶ、観光・地元経済等にとって重要な道路です。トンネルの供用によって、走行性の向上等、道路利用者の利便性が向上しました。

・宇土山トンネルがある通称『がまたすロード』は、地域高規格道路『島原道路』の一部であり、将来の島原半島の自動車専用道路網の一部を担う道路です。H16.3に約2.2km供用した区間の近辺では、供用前と比べ交通混雑が緩和されました。



最近、島原半島には2つのトンネルがつくられたけれど、どんな効果があったのかな？地下水への影響はなかったのかな？



宇土山トンネル
(H16.3供用)

吹越トンネル
(H15.3供用)

凡	例
一般国道	
一般県道	
主要地方道	
農道	
最近つくられたトンネル	
その他のトンネル	

●宇土山トンネル L=252m 主要地方道愛野島原線



こんな効果がありました!

よかった効果!

車がスムーズに流れて、交通混雑が緩和しました!



地下水への影響は…?

地下水への影響や損害の報告はありません

- ・トンネルより下に地下水面があることがわかっています。(地質調査より)
- ・トンネル掘削にあたって、水が多量に出ることはありませんでした。
- ・トンネル施工後、地下水に関する損害の報告はありません。

この道路ができて、島原市街地部の交通混雑緩和に役立っているの。島原中央道路とつながれば、さらに良い効果が期待できるの。



●吹越トンネル L=349m 国道389号



こんな効果もありました!

よかった効果!

曲がりくねった道が解消し、道路がスムーズになりました!



地下水への影響は…?

地下水への影響や損害の報告はありません

- ・トンネル掘削にあたって、水が多量に出ることはありませんでした。
- ・トンネル施工後、地下水に関する損害の報告はありません。

この道路ができて、観光バスもスムーズに通行できそうじゃ。クネクネした道は、運転が難しいからの。



これらのトンネルを造ったおかげで、走りやすくなったね。

今後もトンネル工事の調査を続けていきます。
調査結果はわかりやすく公表していきます。

平成噴火の日 in われん川

われん川再生行事



H17.11.20

力を合わせて川を清掃

平成17年11月20日(日)、15年前の噴火の始まった日(11/17)にちなんで、復興・再生から得た教訓を後世に語り継ぐために、地域の方々と一緒に島原市安中地区のわれん川の清掃を行いました。

イチョウの植樹



イチョウ植樹イメージ図

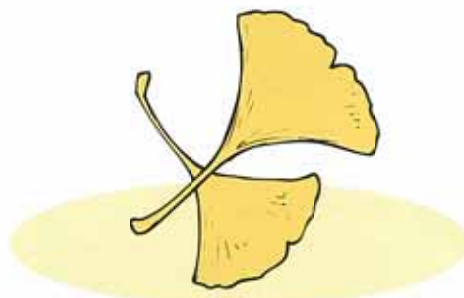


H17.11.20

植樹の様子

噴火災害の脅威^{きょうい}を後世に伝えるために、火砕流到達範囲の目印として、秋に色づくイチョウを昨年から植樹しています。

今回は参加した子供たちと一緒にイチョウの植樹を行いました。



お天気のなぜ？なぜ？不思議講座(part2)

～雪は天から送られた手紙～

みんなは雪の結晶^{けっしょう}って見たことあるかな？雪の結晶はとっても小さいので普段はなかなか見る機会はないけど、実は雪の結晶には様々な形があるんだ。

空気中の水蒸気は上空で冷やされると、水滴又は氷になる。

雪が出来るときは、氷の周りがある水蒸気が直接くっついて結晶が成長していく。それが、地上まで溶けずに降ってきたものを「雪」というんだ。もし、地上に来るまでに途中で溶けてしまえば、それは「雨」になってしまうからね。

[雪結晶の形 基本・六角形]

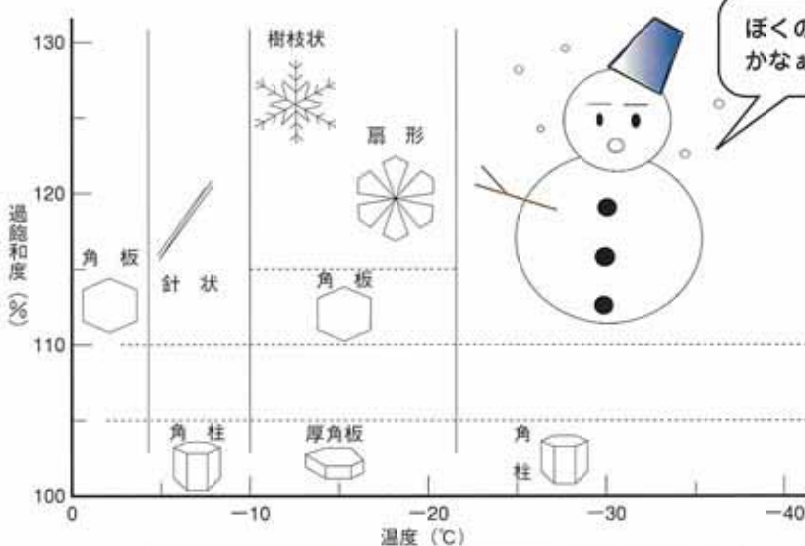
→成長している時の温度により板状や柱状に分類される。

また同じ温度でも、場合によっては空気の過飽和度^{かほうわど}(湿度)によって成長の型が違うんだ。

うーん、ちょっとむずかしいかな？

つまり、空から降ってくる雪の結晶は下の表のように、状況によって姿・形が一つ一つみんな違ってくるんだ。雪も人間の顔みたいに違うんだね。

このように、この地上に降ってきた雪の結晶をみれば、上空の雲の中の温度・湿度などが地上でもわかることから、これを研究して発見した北海道大学の中谷宇吉郎先生は「雪は天から送られた手紙」って言ったんだってさ。



雪結晶の形と温度、過飽和度(湿度)の関係



樹枝状・雪の結晶(イメージ)

国土交通省 九州地方整備局 雲仙復興事務所

〒855-0866 長崎県島原市南下川尻町7番地4

TEL 0957-64-4171 (代)

FAX 0957-64-4127

E-mail unzen@qsr.mlit.go.jp



◎ホームページについて (ホームページアドレス:<http://www.qsr.mlit.go.jp/unzen/>)
今後も、皆様に新しい情報・わかりやすい情報・いろんなデータ等を公開していきます。